

再 評 価 対 象 河 川 事 業 概 要

平成19年12月25日
河 川 部

再評価対象河川事業一覧表

事業名	事業進捗状況	社会経済情勢	費用対効果 B / C	再評価理由 (事業着手)	対応方針 (原案)
大井川	堤防整備率 93% 現在の主要整備内容 牛尾地区狭窄部対策(H13~) 参考 長島ダム完成(H14)	災害発生時の影響 想定氾濫区域内：面積3,900ha 人口4.9万人(H17国調) 過去の災害実績 S57年7月洪水：浸水面積92ha 被災家屋数204戸 沿川の島田市等7市町は河川改修の促進を要望	15.5	再評価後、一定期間 (5年)が経過して いる事業	継続
鈴鹿川	堤防整備率 56% 現在の主要整備内容 鈴鹿川派川高潮堤改修(H14~)	災害発生時の影響 想定氾濫区域内：面積5,800ha 人口7.1万人(H12国調) 過去の災害実績 S49年7月洪水：浸水面積3,600ha 被災家屋数4,884戸 沿川の鈴鹿市等3市は河川改修の促進を要望	13.2	再評価後、一定期間 (5年)が経過して いる事業	継続
宮川	堤防整備率 48% 現在の主要整備内容 宮川床上浸水対策特別緊急事業 (H18~H22) ひのきじり 桧尻川排水機場(H12~H19)	災害発生時の影響 浸水想定区域内：面積3,600ha 人口5.9万人(H12国調) 過去の災害実績 S49年7月洪水：浸水面積3,051ha 被災家屋数14,149戸 H16年9月洪水：浸水面積174ha 被災家屋数303戸 沿川の伊勢市等6市町村は河川改修の促進を 要望	3.6	再評価後、一定期間 (5年)が経過して いる事業	継続

中部地方整備局管内 河川事業



平成19年度 継続箇所 河川改修事業の評価書

事業名	大井川（河川改修事業）		
河川名・水系名	大井川	事業主体	静岡河川事務所
所在地	左岸：志太郡大井川町利右衛門地先～島田市鶉網地先 右岸：榛原郡吉田町川尻地先～榛原郡金谷町神尾地先		
工事着手	昭和33年	用地着手	－
再評価実施理由	再評価実施後、一定期間（5年）が経過している事業		
実施内容	築堤、護岸、河道掘削		
全体事業費	約1,300億円		
事業の目的	島田市、大井川町等を洪水被害等から防御するとともに、河川が適正に利用され、流水の正常な機能が維持され、河川環境の整備と保全がされるよう、築堤、護岸、河道掘削等を行う。		
再評価の概要	<p>1. 事業の必要性</p> <p>（1）事業をめぐる社会情勢</p> <p>①浸水想定区域内面積：約3,900ha</p> <p>② " 人口：約49,000人(H17国調)</p> <p>③ " 資産額：約8,500億円</p> <p>④重要な公共施設等：東名高速、国道1号、東海道新幹線、JR東海道線等、島田市、大井川町等の都市施設</p> <p>⑤災害弱者関連施設：病院2施設、老人ホーム2施設、保育園8施設</p> <p>（2）事業の投資効果</p> <p>B/C = 15.5</p> <p>（3）事業の進捗状況</p> <p>堤防整備率（H19.3末） 93%</p> <p>2. 事業進捗の見込み</p> <p>現在着手している牛尾地区の工事（築堤・開削）については平成29年度の完成を予定している。</p> <p>3. コスト縮減の可能性・代替案の可能性</p> <p>コスト縮減については建設発生土の工事間流用調整などにより4,900万円の縮減となる。また建設発生土を土地区画整理事業など近隣事業と連携し有効活用する。</p> <p>○対応方針</p> <p>本事業を継続する。</p>		

平成19年度 継続箇所 河川改修事業の評価書（原案）

事業名	鈴鹿川（河川改修事業）	事業種別	直轄河川改修事業
河川名・水系名	鈴鹿川	事業主体	三重河川国道事務所
所在地	左岸：四日市市石原地先～亀山市関町新所地先 右岸：四日市市磯津地先～亀山市関町新所地先		
事業着手年度	昭和17年	用地着手	—
再評価実施理由	再評価実施後、一定期間（5年）が経過している事業		
実施内容	築堤、護岸、浚渫、内水対策、樋門、橋梁等の河川改修		
全体事業費	約3,600億円（H18年度価格）		
事業の目的	鈴鹿市、四日市市等の洪水防御とともに、河川が適正に利用され、流水の正常な機能が維持され、河川環境の整備と保全がされるように、築堤、護岸、掘削等の河川改修を行う。		
再評価の概要	<p>1. 事業の必要性</p> <p>(1) 事業をめぐる社会情勢</p> <p>①浸水想定区域内面積 : 約5,800ha</p> <p>② " 人口 : 約71,000人（H12国調）</p> <p>③ " 資産額 : 約13,000億円（H18評価額）</p> <p>④重要な公共施設等 : 国道1号、23号、25号、JR関西本線、紀勢線、近鉄名古屋線等、四日市市、鈴鹿市等の都市施設</p> <p>⑤災害弱者関連施設 : 病院18施設、老人ホーム1施設</p> <p>(2) 事業の投資効果 B/C = 13.2</p> <p>(3) 事業の進捗状況 堤防整備率（H18.3末） 56%</p> <p>2. 事業進捗の見込み 現在、鈴鹿川派川で高潮堤防整備を実施しており、概ね10年間で一連の改修を概成する予定。</p> <p>3. コスト縮減の可能性・代替案の可能性 河床掘削工の築堤材として有効利用や護岸材料のプレキャスト化、大型矢板材料の採用により約9,000万円のコスト縮減となる。今後も、新技術の積極的な活用などを図る。</p> <p>4. 対応方針 本事業を継続する。</p>		

平成19年度 継続箇所 河川改修事業の評価書（原案）

事業名	宮川（河川改修事業）	事業種別	直轄河川改修事業
河川名・水系名	宮川	事業主体	三重河川国道事務所
所在地	左岸：伊勢市東豊浜町地先～度会郡玉城町岩出地先 右岸：伊勢市大湊町地先～伊勢市佐八町地先		
事業着手年度	昭和50年	用地着手	—
再評価実施理由	再評価実施後、一定期間（5年）が経過している事業		
実施内容	築堤、護岸、浚渫、内水対策、樋門、橋梁等の河川改修		
全体事業費	約2,200億円（H18年度価格）		
事業の目的	伊勢市等を洪水から防御するとともに、河川が適正に利用され、流水の正常な機能が維持され、及び河川環境の整備と保全がされるように築堤、護岸、掘削等の河川改修を行う。		
再評価の概要	<p>1. 事業の必要性</p> <p>(1) 事業をめぐる社会情勢</p> <p>①浸水想定区域内面積 : 約3,600ha</p> <p>② " 人口 : 約59,000人（H12国調）</p> <p>③ " 資産額 : 約8,900億円（H18評価額）</p> <p>④重要な公共施設等 : 国道23号、JR参宮線、近鉄山田線、伊勢市等の都市施設、市役所等</p> <p>⑤災害弱者関連施設 : 病院10施設、老人ホーム4施設、身障者施設2施設</p> <p>(2) 事業の投資効果 B/C = 3.6</p> <p>(3) 事業の進捗状況 堤防整備率（H18.3末） 48%</p> <p>2. 事業進捗の見込み 現在着手している床上浸水対策特別緊急事業について、平成22年度の完成を予定している。</p> <p>3. コスト縮減の可能性・代替案の可能性 勢田川河床掘削土の築堤材として有効利用や護岸材料のプレキャスト化、大型矢板材料の採用により、1億円のコスト縮減となる。今後も新技術の積極的な活用などを図る。</p> <p>4. 対応方針 本事業を継続する。</p>		